

事業計画書

公益財団法人日本補助犬協会

平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日

1 事業実施の方針

視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者に対して身体障害者補助犬の育成・認定を行い、無償貸与することにより、社会福祉の増進に寄与する。また、社会に対する補助犬啓発を通じて、障害について関心を持ち、理解を深める共生社会を目指す。

2 公益事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施時期	従事人数	受益対象者
①補助犬育成・貸与・認定 (1)補助犬（及びその候補犬）の育成、認定及び貸与	身体障害者補助犬（以下「補助犬」という）及びその候補犬（以下「候補犬」という）の育成、認定を実施する。 認定は年 13 頭（当協会育成 9 頭、他協会育成 4 頭）を目標とする。	通年	5 人	13 人 （貸与者数 盲導犬 4 頭 介助犬 1 頭 聴導犬 4 頭）他 協会認定 4 人
(2)補助犬の貸与者に対する飼育方法、使用方法等の相談、情報提供	補助犬貸与者並びに貸与希望者に対する飼育方法、使用方法の電話、メール、訪問等による相談・フォロー、情報提供を行う。	通年		当協会育成・認定実働補助犬ユーザー
(3)補助犬候補犬の購入並びに繁殖、関連事項	年 3 頭の候補犬と 1 頭の繁殖犬を購入し、年 1 回の繁殖を行い、育成・訓練に供する。 また、補助犬事業に関わる調査、情報収集を行う。	繁殖は年 1 回、調査は随時	5 人	
(4)パピーの育成	パピーファミリーに対するしつけ教室の開催及び家庭訪問、相談業務を行う。	通年	1 人	
(5)訓練士の養成	訓練士希望の若者を研修生として受入れ、慢性的に不足している補助犬訓練士を養成し、就労を支援する。	通年	3 人	
②補助犬啓発関係 (1)「第 6 回もっと知って補助犬キャンペーン」の実施	企業・団体の協力のもと、キャンペーンポスターの掲示等、全国に補助犬の認知を進めるとともに、期間中、全国で補助犬啓発イベントを行う。	平成 30 年 6 月 1 日～10 月 31 日	6 人	100.000 人

(2)パンフレット・会報の作成・配布	イベント・街頭募金活動でパンフレットを配布し、啓発に努める。また、サポーター・募金箱設置協力店や協力企業・団体に対して会報「にっぽけん通信」を送付し、協会の活動を報告すると同時に、運営費の安定的供給を図る。	通年	4人	
(3)ホームページ・フェイスブックの充実	ホームページ、フェイスブックの充実を図り、より多くの人に補助犬の情報を提供すると共に、協会のタイムリーな活動の発信に努める。	通年	4人	
(4)「補助犬受け入れセミナー」及び「心のバリアフリーセミナー」の開催	スーパー、ホテル、飲食店、病院、交通機関等、受け入れが義務付けられている施設関係者等に対して、「補助犬受け入れセミナー」及び「心のバリアフリーセミナー」を開催する。	通年	5人	500人
(5)「補助犬ガイド士養成講座」の開催	受け入れ事業者に補助犬の受け入れ・接遇に関する専門知識を持った「補助犬ガイド士」を配置することにより、受け入れ態勢の確立に努める。	通年	5人	100人
(6)2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた補助犬受け入れ体制の確立	大会運営を支援するボランティアの養成に務め、大会に参加する補助犬ユーザー支援に向けた準備を行う。		2人	
③子供の情操教育活動	関東および東日本大震災被災地の小・中学校を中心に、他者に対する労り教育を補助犬を通じて行う。	通年	5人	600人 (40人×15ヶ所)

3 収益事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施時期	従事人数	受益対象者
① 商品販売事業				
(1) 補助犬チャリティー商品の制作と販売	補助犬チャリティー商品をボランティアと共に制作し、イベント等で販売する。	通年	3人	イベント会場
(2) 自動販売機設置	飲料の自動販売機を法人敷地内に設置し設置料収入を得る。	通年	1人	